

深見 歴史文化遺産

第拾捌回 難攻堅城 清色城跡

今年9月に、国史跡指定20周年を迎える「清色城跡」。先人の知恵と技術が詰まった名城の魅力についてご紹介します。

薩摩川内には長い歴史の中で起きた物語、育まれた文化が数多くあります。このコーナーでは、数ある薩摩川内の歴史・文化の中から、とっておきのトピックスをご紹介します。

お城もいろいろ

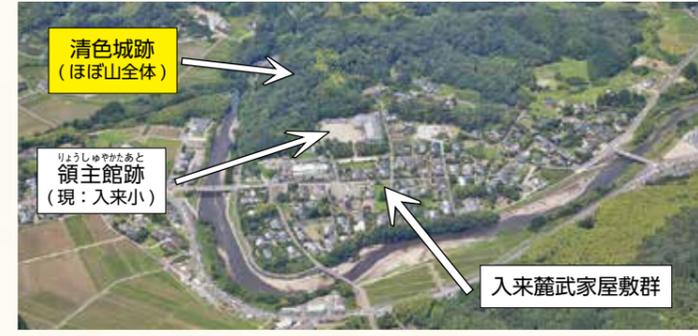
皆さんは「お城」と聞いて、どんなイメージを描きますか。やはり姫路城や熊本城など立派な天守閣がそびえるお城でしょうか。

「お城」の定義はさまざまで、鹿児島城のような天守閣のない「平城」や、丘陵や山に築いた「山城」、函館の五稜郭など、外敵から自地を守る要塞、砦、館などの建造物を指します。その数は戦国時代までに5万ほどあったといわれています。

代表的山城「清色城」

シラス台地が広がる南九州では、「山城」が多く築かれています。各地で武士による領地争いが起こり、攻防の拠点として多くの山城が築かれました。本市で現在確認されているもので、約100の山城があり、その中で

も築城時とほぼ変わらず、往時の様子を物語るのが、入来地域の「清色城」です。



清色城の築城年代ははっきりしません。南北朝期の永和年間(1375~1378)と推定

されています。特徴は「堀切」と呼ばれる、垂直に切り立った巨大な空堀を城内に幾本も築き、侵入して来る敵を上から狙い撃ち。ちなみに堀切の高い場所は20メートルを超え、近付けばその迫力に圧倒され、先陣を譲りたい気持ちになります。



清色城の攻防
そんな清色城には、2度の島津氏との合戦の記録があります。応永3年(1396)と応永18

年(1411)に島津氏が清色城を包囲します。迎え撃つのは領主の入来院氏。1度目は、島津氏が兵糧攻めを選択。入来院氏は城を脱出し、城は島津氏に奪われます。2度目は、島津軍が攻め込みますが、なかなか攻め落とすことができず撤退します。これらの記録からも、攻め込むことが困難で堅固な名城といえることができます。

注目を集める清色城

昨今の刀剣ブームや山城ブームにより、さまざまなメディアが注目し、テレビや雑誌でお城が取り上げられています。



老若男女問わず、多くの方が訪れ、攻略記念に「城郭符」が

お土産として人気です。



清色城攻略のお勧め

清色城内は簡易な散策道を整備していますが、元々堅固な山城ですので、動きやすい服や靴、水分など装備を整え、季節的には、ハチやマムシといった伏兵のいない冬場から春先がおすすめです。

ぜひ、清色城をはじめ、入来麓武家屋敷群、旧増田家住宅と薩摩の武士の息吹を感じる時間旅行に出掛けてみませんか。

■文責・問合せ 社会教育課 文化財G(中央公民館内) (22)7251

行こうよ!

図書館へ



▲図書館 ホームページ

おすすめ本



長谷川さんが鞍馬の火祭りの中、突然姿を消した。あれから10年。5人の仲間は、祭りの日に再会する。10年前の失踪事件の鍵を握るのは謎の絵画連作「夜行」。僕らは彼女と再会できるのか。



会社をサボり、スーツで山に登った40歳の野崎修作。「日常」に戻ると、街も家も会社も、何かおかしい。どこかで聞いたような疫病が世界を分断し、新宗教の持つ票があらゆる選挙を左右し…。シュールでリアルな長編。



どうして認知症になるの? いずれはすべて忘れてしまう? 認知症にならないためには? 認知症という病気の基礎知識から、症状、予防法、家族の心のケアまで、現役の専門医がさまざまな疑問・不安にわかりやすく答えます。

夜行 著/森見登美彦

ワンダーランド急行 著/萩原浩

認知症ってそもそも何ですか? 著/朝田隆



「春一番の思いよ届け 青空はあなたに続く色の階段」。俵万智のみずみずしい感性があふれる短歌・文と、U.G.サトーの奇想天外な絵でつづる、子どもから大人まで日本の四季を楽しめる絵本。

富士山うたごよみ 著/俵万智、絵/U.G.サトー



動物と話のできる名医ジョン・ドリトル先生は、サルたちを恐ろしい疫病から救うために、アヒルのダブダブや犬のジップ、ブタのガブガブらを引き連れてアフリカに向かいます。

ドリトル先生アフリカゆき 作/ヒュー・ロフティング、訳/井伏鱒二

新着本



ピンヒールで車椅子を押す「自分をあきらめたくない人に贈るとある親子の物語」 著/崑山織恵

可哀想な蠅 著/武田綾乃

文豪たちの関東大震災 編/児玉千尋

星空としょかんの王子さま 作/小手鞠るい 絵/近藤未奈

ぼく、いいたいことがあるの 文/ジャン＝フランソワ・セネシャル 絵/岡田千晶、訳/小川仁央

使ってみよう! 電子図書館

電子図書館は、電子化された書籍をパソコン、スマートフォンなどで閲覧できるものです。図書館利用者カードをお持ちの方が利用でき、電子図書館のホームページに直接アクセスするか、市公式LINEからもアクセスできます。
【便利なポイント】いつでもどこでもオンライン上で検索、貸出、返却ができます。
・24時間利用可能 ・図書館を訪れる必要がない
・返し忘れがない(自動返却)
詳しくは、電子図書館ホームページまたは市公式LINEからご覧ください。
※市公式LINEは「メニュー」から「もっと薩摩川内」電子図書館からアクセスできます。
問合せ/中央図書館 (22) 3542



問合せ

- 中央図書館 ☎0996(22)3542
- 樋脇分館 ☎0996(38)0009
- 入来分館 ☎0996(44)5311
- 東郷分館 ☎0996(42)0053
- 祁答院分館 ☎0996(21)8755
- 里分館 ☎09969(3)2958
- 上甞分館 ☎09969(2)0031
- 下甞分館 ☎09969(7)0311
- 鹿島分館 ☎09969(4)2211